

滿鐵密檔

滿鐵與侵華日軍

(四)

遼寧省檔案館編
廣西師範大學出版社

531



大正九年二月廿八日

南滿洲鐵道株式會社

總務部長

大連民政署長中野君志殿
 昨廿七日上海共電報ニ依レバ廿六日
 午後十一時上海共電報ニ依レバ廿六日
 人ハ名滿ガノ事故ニ通セン支那人一
 名ヲ伴ヒ北上セリ爆彈ヲ携フ世帯シ
 奉天長春及安奉線ヲ徘徊スルノ
 計画ナリトノリニ云々此ノ如クニ云々

南滿洲鐵道株式會社

(紀阪洋行納)

532



之矣、其不取故法內、故申上之矣、
 通、關東、廳、事、務、總、長、以、法、通、
 知、申、上、至、矣、甘、申、添、矣、

(肥原洋行納)

南滿洲鐵道株式會社

308-1

9.3.12

付

日

大連工事ノ附帶諸費其他委託工事
費仕拂委託方ノ件照會

大正九年三月十日

南滿洲鐵道株式會社

社長工學博士野村龍吉郎殿

大正八年五月締結シタル大連軍用地解放ニ係ル
契約書、第三條但書ニ依ル工事ニ要スル事務費
監督費、旅費及本契約以外將來相互ノ約定
ニ依リ工事實施ノ委託ヲ受タル場合ノ前記諸
費等ハ當方ニ於テ隨時支出ヲ要スルモノニ付前渡

軍

陸軍

ヲ以テ當部ニ仕拂方委託相成度當部ニ於テハ左
記ノ者ニ出納取扱ハシメ毎年九月及三月末日調リ
以テ貴社ニ對シ決算証明セシムル候間御異存
無之候ハ右ニ取計相成度及照會候也

迄テ所要品渡款ハ甚難度本職ヨリ請
求可致候間申候

左記

陸軍一等主計 村田 歳一

議 回

(甲號) 記事本紙面以上二沙

番 號

滿鐵地庫

9/3

大正 9 年 3 月 13 日

決 議

決 議

決 議

社 長

地方部

長

務

務

務

務

總務部

長

務

務

務

務

名 件

左連軍用地事一、附帶諸費其他委託
事務委託地方、仲、四、若

生

案

社 長

南滿洲鐵道株式會社

9412

回 議 箋

(內號)

關東鐵道株式會社

件 名

解體本年三月十一日附關經建第一三〇
號一以御照會相成係首題一件
敬請於左御來示一由關經建第一三〇
號一以御照會相成係首題一件
光緒御了系相成係首題一件
答中一光緒御了系相成係首題一件

多本件前經呈御覽示一附公布一
數其便途之關一御文出日程未備
事關國庫額見積書而係付初題
中 答 中 一 光 緒 御 了 系 相 成 係 首 題 一 件

南滿洲鐵道株式會社

大連軍用地解放契約に依り、農林社より提供さ
 へき皇水子附近御指定地域ノ買収ハ一應結
 了致候處、本買収ノ際、レハ大連民政署、駐
 閔係地方會村長等ノ斡旋ニ依り、左記條件
 ノ下ニ土地所有者ニ賣渡ヲ承諾セシメ候處、
 今回更ニ閔係會村長より軍事用ニ使用ノ
 必要ナキ限り、他ニ轉貸レシテ從來ノ使用者ノ使用
 ヲ不能ナラシムルカ、如キコト多ク之様更メテ申出
 有之、右条件ハ普通ノ慣例ニ鑑ミ、穩當
 ノコトニ被存候ニ付、事情御諒察、上記条件



件片承認被成下、右片承認ノ上、速カニ
貴部ニ市引渡ノ手續致度ニ付、此段片照
會ト上修也

記

一、軍用地内現存建物、陸軍ニ於テ特ニ必
要ヲ生セザル限リ、現所有者ニ所有ノ居住
住ヲ許ス。但シ現在以上増築等ヲ許サ
ズト又立退ヲ命ザル場合、相当ノ立退料
ヲ給スルコト

(附・立退料ヲ要スル際、弊社ヨリ支弁)



可致候)

二、軍用地内現在墳墓至ハ陸軍ニ於テ特ニ必要ヲ生セサル限り引續キ旧所有者ニ當テ地トシテ使用ヲ許スツト但シ現在以上埋葬ナリテ許サハルト又必要ニ際シ移轉ノ命セラルル場合ハ相当移轉料ヲ給スルツト

(附移轉料ヲ要スル際ハ弊社ヨリ支弁可致候)

三、軍用地内耕地ハ陸軍ニ於テ特ニ必要ヲ生セサル限り旧所有者又ハ其組合ニ相当



料金ヲ以テ貸下セ耕作ヲ許ス

以上



關經建第五九二號

自臭水子買收地附帶條件ハ件目ヨ

大正九年六月十七日 關東軍經理部長宮里能五郎

南滿洲鐵道株式會社

社長工學博士野村龍太郎殿

地底第三三八號ヲ以テ自臭水子ノ買收地ニ係ル

附帶條件ニ關シ御照會ノ趣ヲ承右ハ大

體ニ於テ異存之ニ候得共軍用地トシテノ

管理ヲ容易ナラセラルベキ必要上御申請ノ第一

項及方ニ項ハ左記ノ如ク制限可致候間



右御承知置お成及及回答候也

左記

一、第一項ノ現在建物ハ現在ノ所有者カ耕作
ノ爲自身居住スル間ニ差支ナキモ一、他人
譲渡シ又ニ貸與スルニ事實アルトキハ立退
ヲ命スルコト

二、第三項ハ旧所有者カ現在有地ヲ自身耕
作スル間ハ差支ナキモ一、其ノ地域ヲ拡張
シ又ニ耕作ヲ爲シタル事實アルトキハ依
テ停止スルコト

又旧所有者カ連合シ又ハ組合ヲ組織シ共同
作業ヲ爲スルカ如キニ其ノ目的ノ如何ヲ問
ハス承認セサルベト

三、貸下期間ハ一般軍用地ト同シテ今年
ヲ限度トシテ翌年約シ陸軍ニ於テ必要ナキ
トキハ貸下ヲ継続スルベト

以上



南滿洲鐵道株式會社ニ對スル軍事上ノ希望ニ就テ

大正九年七月 日 參謀總長 男爵 上原 勇 作

南滿洲鐵道株式會社社長工學博士野村龍太郎殿

貴社ノ施設ハ軍事上ニ重大ナル關係ヲ有ス從テ從今此等ニ對シ希望致置候次第モ有之候處其ノ後時勢ノ推移ニ伴ヒ更ニ改善ヲ望ムヘキモノモ鮮ナカラス候ニ付茲ニ別紙ノ通本戰ノ希望ヲ開陳候條一般施設上ニ於テ夫々考慮ヲ加ヘラレ度希望候也

南滿洲鐵道株式會社

(大正十年四月五日社納)